

1



2



3



- 1:箱の外観
- 2:箱を開けたところ
- 3:箱の側面
- 4:このようにして使う

4



1



1:台の部分

2:布を巻きつける筒。

熱湯を入れて栓をする。

3-1:横から見たところ。

L字型の金具で机や畳に固定する。

3-2:使わないときは内側にたためる。

2



3-1



3-2



文 化 張 器 物

實 用 新 案 登 録 第 二 六 三 七 號
商 工 省 指 示 第 一 六 三 七 號

御 家 庭 の 洗 張 は 家 庭 で !!

戦時下主婦の務め新體制に添ひ
資源愛護ノ、消費節約ノ
古い着物を活かせよう!!

文化張物器で

張物と「ゆのし」に未だシンシ張や板張を御使用の御家庭は何卒本器を御使用下さい
本器は舊來のものに較べて時間と經費の濫費を除き然も雨天晝夜の別なく皆様各自の御家庭でお手軽にそして完全に仕上げる事が出来ます

必 需 品

文 化 張 器 物

實 用 新 案 登 録 第 二 六 三 七 號
商 工 省 指 示 第 一 六 三 七 號

御 家 庭 の 洗 張 は 家 庭 で !!

文化張物器で

張物と「ゆのし」に未だシンシ張や板張を御使用の御家庭は何卒本器を御使用下さい
本器は舊來のものに較べて時間と經費の濫費を除き然も雨天晝夜の別なく皆様各自の御家庭でお手軽にそして完全に仕上げる事が出来ます

必 需 品

器具の部分の名稱

① 圓筒
② カギ
③ スプリング
④ 物指
⑤ 押金
⑥ 螺ネジ
⑦ 圓筒

布を器具に通す順序

A 木綿物、銘仙、セル等の場合に於ける仕上法

B 縮む性質の反物の幅出しの場合に於ける仕上法

6235

箱のふたの裏の説明書き
全体と上段

布を器具に通す順序

A 木綿物、銘仙、セル等の場合に於ける仕上法

B 縮む性質の反物の幅出しの場合に於ける仕上法

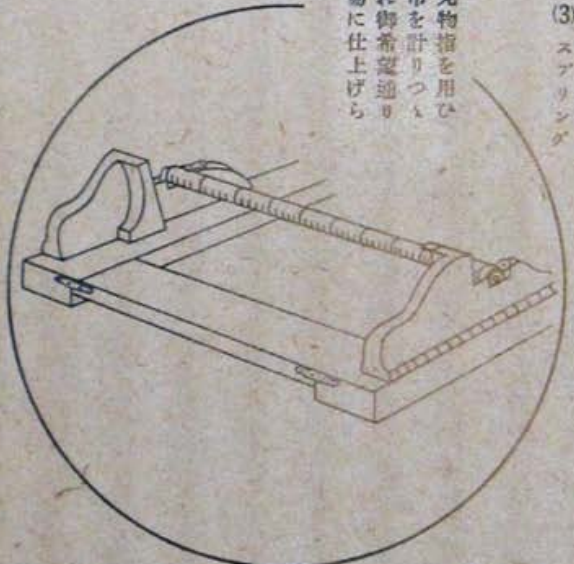
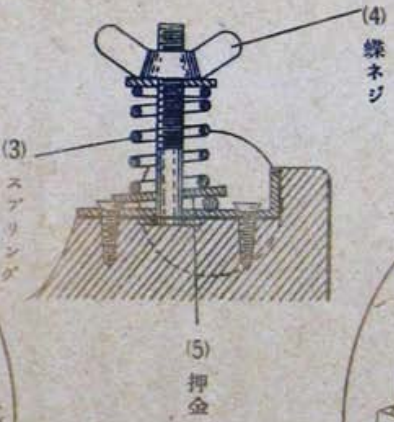
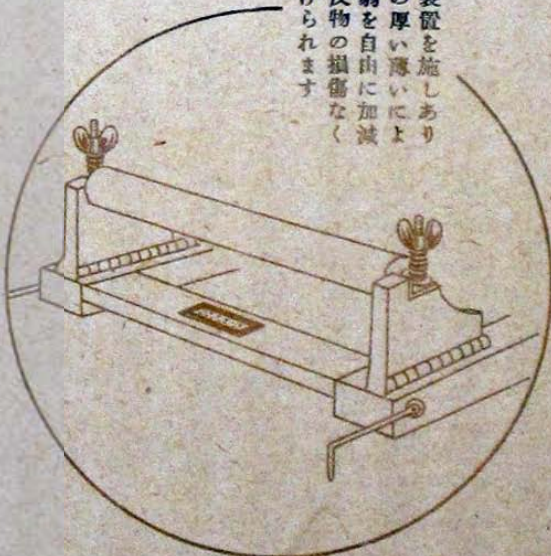
器具の部分の名稱

① カギ
② 丸棒
③ スプリング
④ 物指
⑤ 押金
⑥ 螺ネジ
⑦ 圓筒

文化張物器の特色

- 一、本器一台にて總ての反物の張物と湯のしが容易にしかも完全に仕上ります。
- 一、本器は雨天晝夜の區別なく半中室内で御座敷なら半邊又テール等の上で容易に出來ます。
- 一、本器は獨特のバネ装置を施してあり目的の反物がどんなに厚い生地でも又薄い生地でもネジの加減で自由に調節が出来ますから立派に仕上げられます。
- 一、本器は器台のセルロイド板と同轉物指ロールの装置で仕上げますから張板の様を消したり生地を損傷したり色の褪せる心配なく調を出し立派に仕上げられます。
- 一、本器は丸物指の装置を施してあり目的の反物の巾の寸法を自由に計りつつ仕上げられますから御希望通りの寸法の巾に仕上げられます。
- 一、本器はシンシ紙の様に目が出ず日やけ又はホコリの附く憂は絶対にありません。
- 一、本器は反物巻用丸棒が一本の装置故一定の如く長尺でも又どんなに端縫を多くされた反物でも容易に仕上げられます。
- 一、本器は一具で實用新案四件登録済にて體裁優美堅牢に出來て居り永く御使用出來ます戦時下新體制に添ふ御家庭の必需品の一つであり文化生活の前進であります。

獨特のバネ装置を施しあり反物の生地の厚い薄いによりネジの強弱を自由に加減し得るため反物の損傷なく立派に仕上げられます。



回轉式の丸物指を用ひて反物の巾を計りつつ仕上げられ御希望通りの巾に容易に仕上げられます。

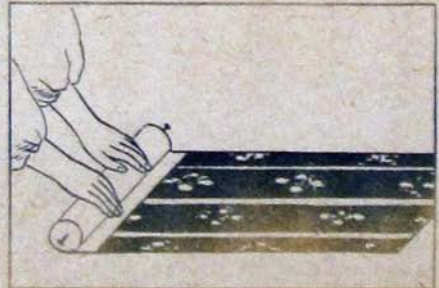
使用法

◎御使用について次記各項に御注意下さい

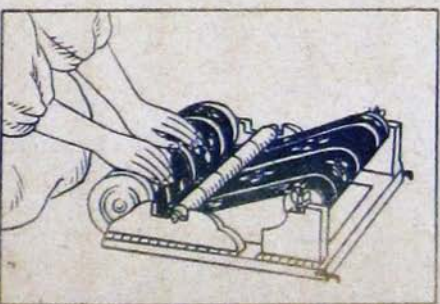
- 一、反物の色の褪る物と褪ない物とを區別され別冊衣服の染に記載の洗濯法を良く研究の上洗濯して下さい。
- 一、糊水を吹く際シブクを反物にこぼさない様に片手に布切れを受けて糊水を吹きすぎない様に加減して萬遍無く吹いて下さい。
- 一、湯のしの場合には糊水を吹かず水霧だけ吹いて下さい。
- 一、縮む性質のある反物は總て仕上げ圓筒の熱湯を取り去り暫く置いて圓筒が冷却してより反物をお取り下さい。
- 一、熱湯を圓筒に注ぐ時又は圓筒より取り去る時注意され反物にこぼさぬ様に注意して下さい。



一、洗つて乾しマツリ縫をした反物の一端に不用の布を一尺ばかり縫ひつけてクラブ糊を溶いて霧吹きに入れしづくを反物へこぼさぬやうに片手で布切れを受けてムラにならぬやうに萬遍なく吹いて下さい。



二、糊を吹き終へた反物を器械の前につけてある丸棒をはづして反物のミミを漏へ不用の布をつけてある端を丸棒の布の中へはさんで丁寧に巻いて下さい。



三、器械の前にある左右のカギを疊又は机上におきへ込み器械を固定させ反物を巻いた丸棒を兩方のバネの下方の押金の下へ入れネジをしめて反物の一端を丸物指の下方をくぐらせて手前のセルロイド張りの臺まで引き出し圓筒の布と布の中へはさんで堅く丁寧に筒の上で兩手でしわを伸し耳を揃へつゝ丸物指して反物の巾を計りつつ巻いて下さい。



四、圓筒へ巻き終へる布の上から紙で包み筒口からこぼれない様に熱湯を一パイ入れて筒口をはめて熱湯の熱度で乾燥して仕上げます。